

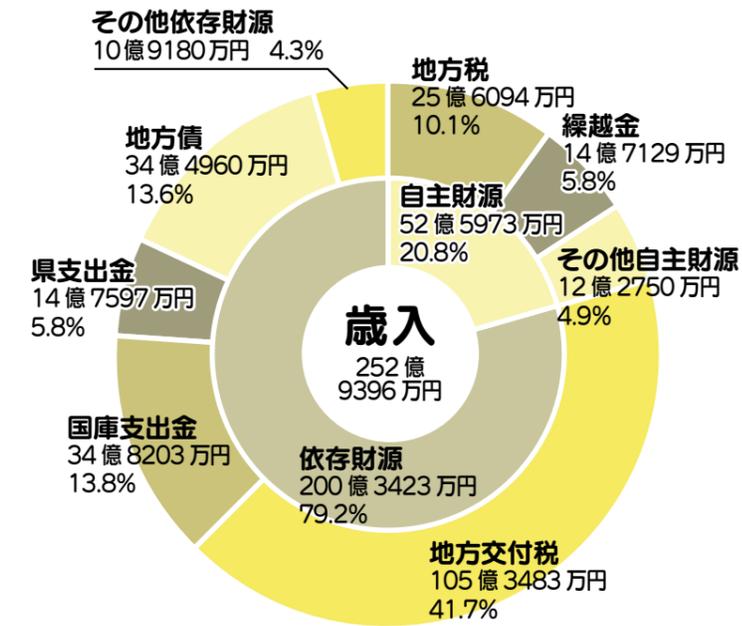
9月に開催された三好市議会定例会議において、2022年度の一般会計および各特別会計の決算が認定されました。決算とは、1年間にどれだけの収入（歳入）と支出（歳出）があったのかをまとめたものです。

私たちが納めた税金や地方交付税などの大切なお金がどのように使われたのか、現在の三好市の財政がどのような状況なのかを報告します。

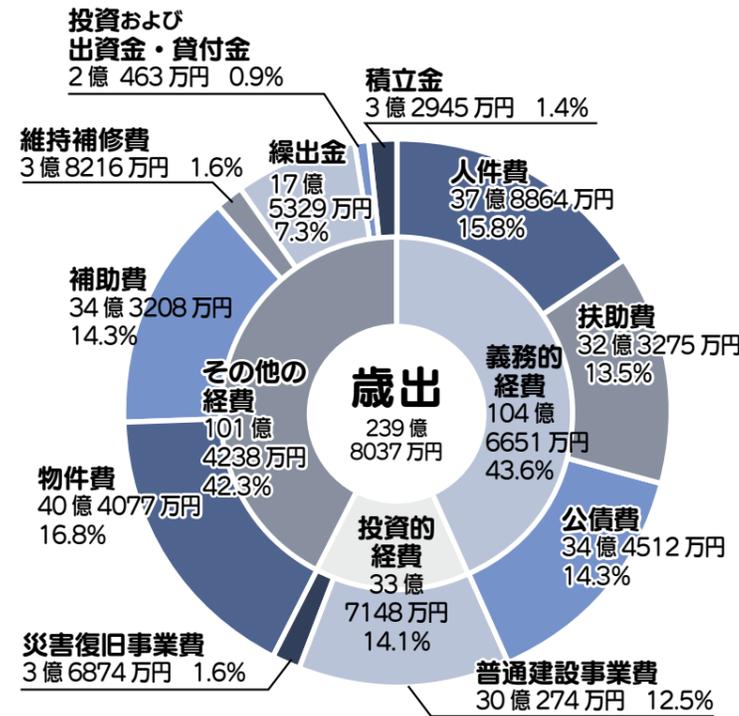
2022年度*普通会計の決算額は、歳入が252億9396万円、歳出は239億8037万円となりました。差し引き額は13億1359万円です。ここから2023年度へ繰越すべき財源2億8813万円を差し引いた、10億2546万円が実質的な収支となりました。

*普通会計
一般会計と土地取得事業会計を合わせたもの。

普通会計 歳入



普通会計 歳出



2022年度 主な事業

- 保健・衛生のために**
 - 重度心身障害者等医療費助成事業 7,549 万円
 - 子どもはぐみ医療助成事業 5,092 万円
- 生活上のために**
 - 支所整備事業 38,927 万円
 - 本庁舎等整備事業 3,150 万円
 - 生涯活躍のまちづくり事業 5,290 万円
 - 三好市高齢者等タクシー利用助成事業 3,390 万円
- 産業振興のために**
 - 鳥獣害対策事業 4,888 万円
 - 諏訪公園整備事業 8,240 万円
 - 持続可能な観光地域づくりモデル市町村形成事業 7,019 万円
- 防災対策・減災対策のために**
 - 三好市防災行政無線システム（同報系）整備工事 43,579 万円
 - 緊急危険箇所対策事業 14,065 万円
 - 急傾斜地崩壊対策事業 3,228 万円
- 教育文化のために**
 - 池田中学校プール改修工事 2,395 万円
 - 教育ICT支援事業 1,980 万円
- 新型コロナウイルス感染症及び価格高騰に対する緊急経済対策のために**
 - 住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金 21,642 万円
 - 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 21,532 万円
 - 三好市事業復活支援金 9,917 万円
 - 三好市生活応援クーポン券事業 13,373 万円

財政健全化比率および資金不足比率

★=三好市の数値	健全財政		財政悪化	
	早期健全化段階	再生段階	早期健全化段階	再生段階
① 実質赤字比率	-	12.92%~	20.0%~	20.0%~
② 連結実質赤字比率	-	17.92%~	30.0%~	30.0%~
③ 実質公債費比率	★6.6%	25.0%~	35.0%~	35.0%~
④ 将来負担比率	-	350.0%~	350.0%~	350.0%~
⑤ 資金不足比率	-	20.0%~	20.0%~	20.0%~

- ① 実質赤字比率** ... 普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率
- ② 連結実質赤字比率** ... 全会計の赤字や黒字を合算し、自治体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率
- ③ 実質公債費比率** ... 自治体の財布から借金返済にどれだけ充てられているかを示す比率
- ④ 将来負担比率** ... 一般会計の借金や、将来支払っていく可能性のある債務などが、将来財政を圧迫する度合いを示す比率
- ⑤ 資金不足比率** ... 各公営企業会計の資金不足を公営企業の事業規模と比較し、経営状況の深刻度を示す比率

財政再生基準

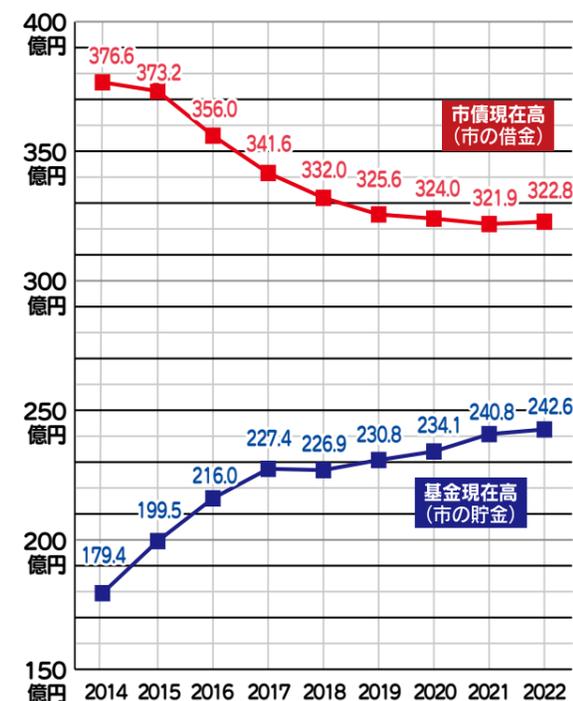
財政悪化の状態が「赤信号」。国の管理もとで財政再生に取り組む

早期健全化基準

財政悪化の状態が「黄色信号」。破たん防止の措置であり、自治体は自主的に財政再生に取り組む（⑤については公営企業における経営健全化基準）

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

基金現在高と市債現在高の推移



各特別会計決算額

井内財産区	36万円
国保（事業）	32億 3465万円
国保（直診）	2億 729万円
後期高齢者医療	5億 267万円
浄化槽事業	3億 4666万円
農業集落排水事業	2332万円
簡易水道事業	133万円
水道事業会計	11億 4498万円
病院事業会計	10億 7874万円